

平成26年度瀬戸内市次世代育成支援地域行動計画(後期計画)に基づく措置の実施状況及び評価

基本目標 1 子育て家庭の支援

(1) 地域における子育て家庭の支援

① 保育サービスの充実

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
1	通常保育事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・8か所の認可保育所が設置されていません。入所率に偏りがあり、施設数の調整が必要となっています。 ・0歳児保育を7か所の認可保育所で実施しています。 ・施設や設備の老朽化による改修が必要となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【新設保育園等施設整備】 ・福田保育園の隣接地の取得や活用案について検討。 【0歳児保育】 ・7か所の認可保育所で継続実施。 【施設整備】 ・継続実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、保育施設や遊具等の整備・改修に努めました。 	子育て支援課
2	延長保育事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての認可保育所で、30分または1時間型の延長保育を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度 年間延べ利用人数 ・牛窓ルンビニ保育園 848人 ・あいあい保育園 1,141人 ・長船ちとせ保育園 1,518人 ・邑久保育園 387人 ・福田保育園 264人 ・今城保育園 92人 ・裳掛児童館 0人 ・長船西保育園 50人 ・長船東保育園 47人 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての認可保育園で実施し、保護者の利用ニーズに対応できました。 	子育て支援課
3	休日保育事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査の結果を検証する必要があります。 	子育て支援課
4	幼稚園での預かり保育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・8か所の幼稚園で実施しています。(全幼稚園10園中、休園1園、認可保育所と併設1園) 	<ul style="list-style-type: none"> ・7か所の幼稚園で実施しています。(全幼稚園10園中、休園3園) 	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育のニーズが高く、市全域で145名の預かり保育を実施しました。 	総務学務課
5	認可外保育施設による保育サービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・2か所の事業所内保育施設が設置されています。 ・裳掛児童館(市単独事業)で保育サービスを実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【事業所内保育施設】 ・事業所内保育施設2か所。 【裳掛児童館】 ・継続実施。 (平成27年3月入所児童数) 11人 	<ul style="list-style-type: none"> 【事業所内保育施設】 ・邑久光明園、長島愛生園内において保育が実施されました。 【裳掛児童館】 ・市単独事業として保育サービスを実施しました。 	子育て支援課

6	幼保一体化・一元化に向けた関係機関との調整	・玉津幼稚園と玉津保育園の施設共用化を実施しています。	・保幼の連携強化のため、牛窓町、邑久町、長船町の3地域で保育園と幼稚園の交流行事を実施しました。また、実践事例集を取りまとめました。 ・保育参観や市幼稚園研究会、年間5回の合同研修会を通して幼稚園と保育園の交流を深めました。	・交流行事を積み重ねることにより、保幼連携の深化・拡充を図ることができました。 ・保幼の教職員の情報交換や共通理解の機会にすることができました。	総務学務課
			・保幼の連携強化のため、牛窓町、邑久町、長船町の3地域で保育園と幼稚園の交流行事を実施しました。 ・市保育協議会主催の視察研修で、市子育て支援課と教育委員会の職員とともに他市の認定こども園を訪問しました。	・交流行事を実施することにより、保幼連携の強化につながりました。 ・実際に視察することで、より具体的な保育や運営について学ぶことができました。	子育て支援課
7	認可保育所におけるサービスの質の向上に向けた職員研修等の充実	・県主催の現地研修会の開催や、専門家チーム員及び巡回相談員派遣（県巡回相談）を要請し、指導・助言等の支援を受けています。	・各保育園で、園内及び市職員研修会、県・市保育協議会主催の研修会、子育て支援に関する研修会等に参加しました。	・子どもへの理解を深めるなど個々に自己研鑽を積み、保育の現場で生かせることにより、質の向上につながりました。	子育て支援課
8	認可保育所における防犯・応急処置・安全管理体制の確保	・安全危機管理マニュアルを策定するとともに、警察署と連携して、不審者対応訓練を年3回実施しています。	・危機管理マニュアルにそって、警察署、消防署などと連携し、防犯訓練や避難訓練、防災教室、救命講習などを実施しました。	・防犯・防災知識等が身につく、安全管理体制の確保につながりました。	子育て支援課
9	認可保育所保育料低額基準額の設定による経済的支援	・認可保育所保育料の設定について、国の基準よりも低額な規準で実施しています。	・市内の認可保育所保育料については、国の基準よりも低額な基準で設定。	・子育て家庭の経済的支援につながりました。	子育て支援課

②子育て家庭を支援する多様なサービスの充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
10	病児・病後児保育事業の充実	・病児・病後児対応型が1か所設置されています。	【病児・病後児対応型】 ・平成26年度年間延べ利用人数 180人 【体調不良児対応型（自園型）】 ・未実施。 ・なお、平成27年度より長船ちとせ保育園内で病児・病後児保育事業を実施予定。	【病児・病後児対応型】 ・市ホームページへの掲載、チラシ配布、市内保育園・幼稚園等への訪問を行い、制度周知を図りました。	子育て支援課
11	一時預かり事業の充実	・4か所の認可保育所で実施しています。	・平成26年度年間延べ利用人数 ・牛窓ルンビニ保育園 529人 ・あいあい保育園 146人 ・長船ちとせ保育園 1,435人 ・邑久保育園 1,405人 ・長船東保育園 1,092人	・5か所の保育園で実施し、子育て家庭への支援を図りました。 ・2か所の保育園では、生後2か月から利用可能とし、子育て支援につながりました。	子育て支援課
12	ショートステイ事業（短期入所生活援助事業）の充実	・2か所の児童福祉施設への委託により実施しています。	・継続しましたが、利用者はいませんでした。	・利用者はいませんでした。緊急時の一時的に児童を養育する場を確保することにより、子育て家庭への支援を図れるので、今後も利用促進の周知が必要です。	子育て支援課

13	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・9か所の放課後児童クラブが設置されています。 ・クラブ代表者による学童保育連絡会議を開催し、情報交換や課題の検討を行っています。 ・指導員の研修会を実施するとともに、長期休暇期間（夏休み等）の指導員増に対して委託料を加算しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10クラブで実施。 ・指導員研修会及びクラブ代表者による学童保育連絡会議を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催の指導員研修会（学童保育における児童虐待の早期発見と対応、素人から卒業しよう！プロの指導員になるためセミナー、子どもを真ん中に！なんて軽々しく言わなくなるためセミナー）を実施し、指導員の資質の向上を図りました。 	子育て支援課
14	地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・牛窓地区・邑久地区にある4つの認可保育所に地域子育て支援センターを併設しています。 ・各センターでは、子育てに関する相談をはじめ、センターだよりの発行など子育てに関する情報提供、講習会の開催、母親クラブ等の支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度 実施施設 <ul style="list-style-type: none"> ・牛窓地域 2か所 ・邑久地域 2か所 ・長船地域 1か所 	<ul style="list-style-type: none"> ・邑久、長船、牛窓地域のそれぞれの子育て支援センターで、多くの方が利用されました。 	子育て支援課
15	ファミリーサポートセンター事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼会員と提供会員による子育て支援の仕組みとして、センターを1か所設置（認可保育所に併設）しています。 ・提供会員の養成を目的に、保育サポーター養成講座を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年3月末の登録会員数は、依頼会員47名、提供会員37名、依頼会員兼提供会員6名、計90名。平成26年度相互活動は48件。 ・平成26年9月から4日間、保育サポーター養成講座を実施、12名が提供会員（うち1名は依頼会員を兼ねる）の登録をされました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動できる提供会員が減少しているため、引き続き提供会員の確保が必要です。 	子育て支援課
16	マイ保育園サポート事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦や3歳までの子どもと保護者を対象に、身近な認可保育所等（計9か所）で、施設開放・育児体験・子育て相談・マイ保育園一時保育（4か所）が利用できる事業を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての保育園等（9か所）で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センターの活動内容と重なる部分が多く、今後は見直しが必要です。 	子育て支援課
17	幼稚園での子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園では、未就園児の親子登園、子育てサークルの支援、子育てに関する相談・情報提供等を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通カリキュラムの「思いを伝える」ことに焦点を当て研究に取り組みました。国府幼稚園を会場に研究発表会を行い、市内の保育園、幼稚園の職員53名が参加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通カリキュラムで、目指す子ども像を明確にしたことにより、家庭教育においても子育ての指標として活用が見通しを持つことができました。 	総務学務課

③子育て家庭への情報提供・相談体制の充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
18	子育て支援マップや子育てガイドブック等の作成・配布	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止の啓発チラシの裏面を活用して、市内の子育て支援機関のマップを作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子どもの成長過程に沿った子育てに関する各種制度などを紹介した子育て支援冊子を妊娠届時に配布。 ・市内の商店・施設等におむつの交換台や授乳スペース等があるかどうかを表示した子育て支援マップを妊娠届時に配布。冊子・マップともに市役所等の保健福祉窓口に設置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の子育てに関する情報を分かりやすく伝えることができています。 	子育て支援課

19	市広報や市HP等を活用した情報提供の強化	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援に関する制度やサービス等について、市広報や市HPに掲載しています。 市の健康づくり通信に母子保健情報を掲載し、愛育委員による回覧を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援サイト（市ホームページ）で子育てに役立つ情報などをインターネットに掲載しているが、平成27年1月に市ホームページがリニューアルされたことに伴い、上記の内容は、瀬戸内と暮らす（定住・子育て）で引き続きで紹介しています。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを通じて、子育てに関する最新の情報を提供することができました。 	子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> ホームページや愛育委員回覧により最新情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページや愛育委員回覧により、子育て中の親や家族への最新情報提供となりました。それはまた、祖父母世代や近隣の方や関係者への子育て支援情報の提供ともなり、周囲の方の子育てへの理解と協力へもつながったことと推察されます。 	健康づくり推進課
20	母子保健事業を通じた情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診や育児相談で、年齢や発達状況に応じて、健康管理や子育てに関するパンフレット等を配布しています。 子育てに関する正しい知識の普及啓発や、親同士の交流による育児の孤立化の予防等を目的に、子育て孫育てセミナーを実施しています。 愛育委員が生後4か月までに赤ちゃん訪問を行い、手作りおもちゃの贈呈や乳幼児健診への受診勧奨等を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診では、他職種を配置しており、それぞれのペースでその都度、個別に育児情報を提供しました。 愛育委員による家庭訪問では、手づくりのおもちゃを持って、赤ちゃん誕生を祝福し、子育てに関する情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳児家庭全戸訪問事業、乳幼児健診、育児相談、離乳食講習会等の母子保健事業を通じて、子育てに必要な最新情報をわかりやすくタイムリーに提供することができました。 愛育委員による赤ちゃん訪問は、ご家庭の方に好評です。 	健康づくり推進課
21	親子クラブの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 親子クラブの運営・活動に関する相談や、情報提供等を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回親子クラブ役員会を開催し、活動支援を行っています。愛育委員や栄養委員、子育て支援センター保育士にも役員会への出席を依頼し、多くの機関で親子クラブの活動を支援する体制を整えました。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子クラブ役員へのサポートを行い、自主的な活動の後方支援となっています。 	健康づくり推進課
22	地域子育て支援センターによる情報提供や相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各地域子育て支援センターでは、毎月センターだよりを発行するとともに、利用者からの相談、情報提供を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度年間延べ利用人数 <ul style="list-style-type: none"> 牛窓ルンビニ保育園 7,110人 あいあい保育園 3,404人 長船ちとせ保育園 2,242人 邑久保育園 5,428人 福田保育園 3,767人 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの方が利用し、子育て家庭支援につながりました。 	子育て支援課
23	児童相談援助の充実	<ul style="list-style-type: none"> 福祉事務所の家庭児童相談室を兼務し、家庭相談員と社会福祉主事（保健師）により相談を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭相談員2名（内1名は臨床心理士の資格あり）と保健師により、児童相談援助をすすめました。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭相談員2名と保健師1名の体制を継続し、児童相談に対応できました。 	子育て支援課
24	子育て支援の総合相談及びコーディネーター機能の設置検討	<ul style="list-style-type: none"> 各機関が既存事業の中でそれぞれ対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援も含めた総合相談窓口を設置するため、子ども教育検討プロジェクトチーム及び関係各課で課題として取り上げ、調査研究を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の窓口対応を検証し、妊婦や子育て家庭、高齢者も含め、利用しやすい窓口とするため、具体案を示して関係課と機構改革も含めた協議を行い、包括的な支援窓口設置の検討を行うことができました。 	子育て支援課

④子育て家庭支援のネットワークづくり

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
25	子育て支援ネットワーク事業の推進 【再掲】No. 80、107	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待などの要保護児童の早期発見や早期対応をはじめ、すべての子どもと家庭への支援を目的とした関係機関・民間団体等によるネットワークを構築しています。 ・構成メンバーによるネットワーク連絡会を設置し、研修会や交流会を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健福祉フェスタ」を実施。既存の市子育て支援ネットワーク構成メンバーと連携しながら実施することができました。 ・12/16に子育て支援ネットワーク連絡会、3/12に子育て支援ネットワーク研修会を開催しました。(研修会：50名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健福祉フェスタ」では、民生委員、愛育委員、栄養委員等、子育て支援ネットワークメンバーと連携しながら、子育ての楽しさ、喜びを市民に伝えることができました。 ・子育て支援ネットワーク研修会において、ワークショップを実施し、構成メンバー間で、地域でできる子育て支援について考えることができました。 	子育て支援課
26	健康づくり事業での子育て支援関係団体の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の健康フェスタで、民生委員児童委員・愛育委員・栄養委員・各種団体等との連携のもと、昔遊びの伝承や絵本の読み聞かせ、食育や子育てに関する情報提供を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 3回目の保健福祉フェスタでは、従前どおり、民生委員・愛育委員・栄養委員等の関係団体の協力があり、昔遊びの伝承や絵本の読み聞かせ、食育や子育てに関する情報提供が行われました。また、ベジもっとフェスタでは中高生と赤ちゃんとの交流体験の場もありました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の関係団体の構成メンバーがそれぞれの役割を担って、保健福祉フェスタを盛り上げていただき、企画から広報周知、準備、実施を通じて、関係組織の連携がさらに強化されました。 	健康づくり推進課

(2) 子どもの健全育成

①世代間や地域交流の推進

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
27	子どもを対象とした地域の大人が主体となる体験講座の充実 【再掲】No. 81	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや親子を対象に、地域の大人が講師となり、郷土料理や季節の行事などを体験する講座を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部を立ち上げている小学校を中心に、地域の方をゲストティーチャーとして招き昔遊び等の指導を行いました。 地域の大人が協力して週末を中心に子どもの体験活動を提供以下の4事業を実施しました。 わくわく☆チャレンジ 11回 477人 おはなし会 76回 464人 うさぎの学校 8回 267人 邑友タイム 8回 609人 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流をもつことにより、地域の大人と子どもたちの人間関係づくりができました。 子どもに様々な体験を提供することが出来ました。 	総務学務課 社会教育課
28	認可保育所での地域活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ、愛育委員、更生保護女性会、ボランティア等の協力・連携のもと、園内外で地域交流を行っています。 ・中高生による認可保育所への訪問や、夏休み期間中に中高生ボランティアの受け入れを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放の実施とともに、老人会や地域ボランティアの方々の協力により、伝承遊びやいも掘り体験などを実施しました。また、老人ホーム等への慰問・招待交流を行いました。 ・市内中・高校生のボランティアや長島愛生園看護学生などの受け入れを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各園、多方面から地域の交流を深めることができました。 	子育て支援課
29	放課後児童クラブでの交流活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアが有するスキルを活かした放課後児童クラブの活動を行う際、事業費の負担を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアを講師に招き、絵本読み聞かせ会、手芸教室、けん玉教室などを実施したクラブに対して、講師謝礼などの費用を補助。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を通して、高齢者や地域ボランティアと児童との交流を深めることができました。 	子育て支援課

②いじめ・少年非行、引きこもり・不登校等への支援

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
30	子ども人権相談の充実 【再掲】No. 102	・夏休み・冬休み・春休み期間に、子ども向け人権相談が開催されています。子ども本人からの相談に加え、保護者からの相談も受け付けています。	従前のおり法務省委嘱の人権擁護委員による実施でした。	充実を行うには人員配置や予算が課題です。	市民課
31	要保護児童対策地域協議会による支援の推進 【再掲】No. 103、108	・児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議を年1回、実務者会議を月1回、個別ケース検討会議を適宜開催しています。	・代表者会議を5/28に開催。 ・実務者会議を毎月開催。前年度より回数を増やし、計14回開催しました。	・会議を設けることで、要保護児童に関する情報や課題を共有し、支援体制を整えることができました。 ・困難ケース等、タイムリーに個別会議を持つことで、関係者がケース情報や課題を共有し、役割を確認することで、支援体制の充実を図ることができました。	子育て支援課
32	青少年育成センターによる補導活動の実施	・指導員による日常的巡視（JR駅での補導活動）、広域合同列車巡視、JR駅での早期巡視、すこやかハートランド清掃、声かけなどを実施しています。	・指導員による日常的巡視や広域合同列車巡視、早期巡視を実施しました。	・地域の実情や実態を早期に把握し、生徒指導の早期対応と体制の連携・強化につながりました。	総務学務課
33	不登校児童生徒への支援	・適応指導教室「のぞみ」を設置し、心理的原因による不登校の児童生徒の支援や、学校・スクールカウンセラーとの連携を行っています。	・児童生徒の欠席状況を日常的に把握し、家庭への連絡や家庭訪問を積極的に行いました。情報共有等各校との連携を深めることで、不登校児童生徒へより効果的な対応ができました。	・放課後や別室登校という形ですが、複数の生徒が学校に復帰することができました。	総務学務課
34	小・中学校へのスクールサポーターの配置 【再掲】No. 71	・県教育委員会と連携し、中学校2校にスクールサポーターを配置しています。			総務学務課
35	関係機関の連携確保	・青少年の実態把握や、青少年にかかわる各種団体の活動情報を共有するため、青少年問題協議会を開催しています。	平成27年1月25日開催。 各団体から現状の報告と課題などの意見を交換し情報の共有化を図りました。	各団体の持っている情報の共有化が図れました。	社会教育課

③各種団体が行う活動への支援や施設等の活用・充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
36	民生委員児童委員・主任児童委員の活動支援	・民生委員児童委員・主任児童委員による学校訪問活動や、各種研修会・会議等への参加について、連絡調整等の支援を行っています。	・中学校、小学校訪問による児童生徒の状況把握及び情報交換などの活動を行いました。 実施訪問校数 8校 延べ回数 12回	・民生委員児童委員・主任児童委員による学校訪問活動や各種研修会・会議等を開催し、積極的に活動しています。	福祉課

37	施設使用料の減免及び活動費の補助	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する活動を行う団体に、市や市教育委員会が所有する施設等における使用料の減免を行っています。 ・子どもの健全育成にかかわる各種団体の活動費の補助を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【子育て支援団体活動費の補助】 ・子育て支援団体について、公民館使用料等の減免登録を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会が所有する施設での利用がしやすくなり、活動の推進につながりました。 	子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> ・保育園保護者会、親子クラブ等19団体に対し、活動費の補助金を交付しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の活動費の補助により、地域住民の積極的参加による地域組織活動の促進を図ることができました。 	福祉課
			<ul style="list-style-type: none"> 【ゆめトピア長船使用料の減免】 ・ゆめトピア長船使用料の減免を行いました。 <p>団体数 2団体 延べ回数 27回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全育成にかかわる各種団体の方々に多様にわたり使用していただいています。 	
38	青少年健全育成に関する学習機会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成推進大会を開催し、明るい家庭づくり作文の表彰及び発表や、記念講演を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【社会教育施設使用料の減免】 団体にに対して活動目的に応じた各施設の減免を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成を進める団体の活動が活性化することに寄与できました。 	社会教育課
			<ul style="list-style-type: none"> 【社会教育団体活動費補助金】 スポーツ少年団やFOS少年団、B&G海洋クラブに対し活動費補助金を交付しました。 		
39	集会施設等を活用した地域づくり活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態に即した自主的な地域活動の活性化を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 11/29に市PTA連合会、家庭教育学級などと連携し、第1部「明るい家庭づくり」作文の発表と第2部講演会（講師：植田辰哉氏）を開催しました。 参加者数：338名 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が家庭や子育てについて見つめ直し、家族の大切さを感じる機会を提供できました。 	社会教育課
39	集会施設等を活用した地域づくり活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態に即した自主的な地域活動の活性化を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等が実施する地域の行事、環境整備、ふれあい事業等に対し補助金を交付しました。 （活用自治会70、活用団体36(交付決定ベース)） ・補助基準は、対象経費の2分の1以内で、自治会又は自治会の連合体が自主的に行うコミュニティ活動の場合は、人口一人当たり400円を限度額としました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会を行うとともに、申請の手引き等を配布することでよりわかりやすく使いやすい補助金制度となるよう努めました。 ・今後、新たな枠組みでの補助金制度の創設に向けて、今後も調査研究を行う必要があります。 	まちづくり推進課 (H26年度から企画振興課)
			<ul style="list-style-type: none"> ・児童遊園地を整備及び管理する自治会等を対象に、遊具の新設、増・改設の事業費の一部を補助しています。 ・市で管理する児童遊園地の安全点検を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童遊園地を整備及び管理する自治会等に対し、遊具の新設、増・改設等事業に補助金を交付しました。 ・平成26年度は3自治会（4公園）に対し、補助を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具が整備・修繕されることにより、子ども達の安全性の確保や健全な育成に役立っています。
40	児童遊園地の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童遊園地を整備及び管理する自治会等を対象に、遊具の新設、増・改設の事業費の一部を補助しています。 ・市で管理する児童遊園地の安全点検を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童遊園地を整備及び管理する自治会等に対し、遊具の新設、増・改設等事業に補助金を交付しました。 ・平成26年度は3自治会（4公園）に対し、補助を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具が整備・修繕されることにより、子ども達の安全性の確保や健全な育成に役立っています。 	子育て支援課

④経済的支援

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
41	子ども手当の支給 ※H24.4子ども手当→児童手当	・児童手当法に基づく児童手当を支給しています。	・児童手当法に基づき現況届提出者（約2,500人）に児童手当の支給を行いました。 ・子育て世帯臨時特例給付金の支給を行いました。（対象児童数 約4,100人）	・現況届提出者に対しては、滞りなく手当の支給を行うことができました。現況届の未提出者へは、複数回手続き勸奨の文書を送るなどし、H27.3.31時点での提出率は約99%となりました。今後も未提出者に対して手続き勸奨を実施する予定です。 ・子育て世帯臨時特例給付金の申請書提出者に対して滞りなく給付金の支給をおこなうことができました。	子育て支援課
42	出産育児一時金の支給	・国民健康保険法に基づく出産育児一時金を支給しています。	・35件支給。	・計画どおり実施しました。	市民課

（3）多様な働き方の実現及び仕事と子育ての両立の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
43	男女共同参画の意識啓発 【再掲】No. 65、79	・市広報に男女共同参画週間を紹介する記事を掲載しています。	市広報紙へ男女共同参画週間の紹介記事を掲載しました。	市として独自に推進するには、人体体制・予算が課題です。	まちづくり推進課 (H26年度から市民課が担当)
44	育児・介護休業制度の普及啓発	・未実施。	・未実施。	市として独自に推進するには、人体体制・予算が課題です。	まちづくり推進課 (H26年度から市民課が担当)
45	働き方の見直しについての意識啓発	・未実施。	・未実施。 ・子育て応援冊子の中で、育児休業など、仕事を続けながら育児をする方を支える制度を紹介しています。	市として独自に推進するには、人体体制・予算が課題です。 ・「お父さんの子育て」コラムの中で、仕事と日常生活のバランスを考え、時間管理や仕事内容を工夫するよう、呼び掛けました。	子育て支援課
46	次世代育成支援一般事業主行動計画の策定促進	・未実施。	・未実施。		子育て支援課
47	女性の再就職への支援の強化	・未実施。	・未実施。 ・平成26年度は、仕事探しの方に対する総合的な就業・生活支援を行う出前相談を市内の子育て支援センター（5か所）等で実施しました。 ・ジョブスポットせとうちにおける、平成26年度の子育て女性等の支援対象者数85人、就職者数85人、就職率100.0%。	市として独自に推進するには、人体体制・予算が課題です。 ・ジョブスポットせとうち、ハローワークと連携することで、女性の再就職への支援の強化に努めることができました。	まちづくり推進課 (H26年度から市民課が担当) 子育て支援課

基本目標2 子どもと母親の健康の確保と増進

(1) 子どもと母親の健康の確保

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
48	母子健康手帳の交付	・手帳交付時にアンケート調査を行い、妊娠中の健康管理や過ごし方等について、面接指導を行っています。	・母子手帳交付時にアンケート調査を行い、妊娠中の健康管理や過ごし方等について、面接指導を行いました。母子手帳交付件数242件。 アンケートより気がかりな妊婦には、電話や家庭訪問(実7件、延10件)を行い、出産育児に向けた支援を行いました。	・妊婦アンケートにより気がかりな妊婦を把握でき、出産までに訪問等で関係づくりをすることで、産後早期の育児支援に繋がることができました。	健康づくり推進課
49	保健指導の充実	・生後1~2ヶ月頃、保健師や助産師が訪問や電話連絡等により、健康管理や育児の不安、悩み等に対する相談支援を実施しています。	・乳児家庭全戸訪問事業をほぼ全家庭に行っています。エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんへの気持ち質問票などを取り入れた産後アンケートを産婦に対して実施し、産婦の不安や悩みを把握しやすい仕組みづくりを行いました。また、その結果を基に、可能な限り新生児期に乳児家庭全戸訪問事業を行える体制を整備しました。	・乳児家庭全戸訪問事業の実施率は92.1%でした。訪問の受入について、継続して、妊娠届出時などを活用した周知・啓発が必要です。	健康づくり推進課
50	乳幼児健診の充実	・多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー一児の検討を実施しています。	・医師・歯科医師・臨床心理士・保健師・看護師・保育士・歯科衛生士など、多職種で、より精度の高い乳幼児健診をめざし実施しています。 ・受診率は、年々上昇しています。 ・子どもの発達の節目であり、未受診児には、事後、保健師が電話や家庭訪問などにより連絡し、子どもの発達や育児の様子をうかがい、再度の受診勧奨に努め、100%把握をめざし実施しています。		健康づくり推進課
51	からだや社会性、協調性などの発達支援	・児童福祉施設との連携による親子教室を開催しています。 ・発育や発達等に関する乳幼児こころの健康相談を実施しています。 ・専門医による幼児の発達相談を実施しています。	・親子教室は年齢で2グループ、年16回ずつ行いました。 ・乳幼児こころの健康相談は年12回実施し、29人が利用しました。 ・発達相談は年4回実施し、21人が利用しました。専門機関での療育につながる機会となりました。	・児童福祉施設と連携することで、児童への対応や母への実践的な助言が得られ、有効だったと考えます。 ・発達の専門家である臨床心理士により、相談・助言を得ることができ、よりよい対応につながりました。 ・発達相談で、発達検査・診断を受けることにより、専門機関での療育につながる機会になったと考えます。	健康づくり推進課
52	基本的な生活習慣の習得支援	・乳幼児健診や育児相談を通じて、早寝、早起き、食事時間等の規則的な生活リズムの確立を支援しています。	・乳幼児健診や育児相談を通じて、早寝・早起き・食事時間等の規則的な生活リズムの確率に向けた支援を行いました。 乳幼児健診では、全員に栄養指導を行い、育児相談では、栄養指導のコーナーを設けています。	・栄養士の相談コーナーは、全員に面接するため、個々の生活にあわせた、きめ細やかな相談業務ができたと考えます。	健康づくり推進課

53	歯の健康づくりの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に、虫歯になる可能性を予測するカリエスタット検査を実施しています。 ・カリエスタット検査の結果、虫歯になる可能性の高い子どもを対象に、歯科衛生士による歯科相談（すこやか歯の教室）を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に、虫歯になる可能性が予測できるカリエスタット検査を実施しております。 年間実施件数は、977件（受診児のみ）。 ・平成26年度は3歳児健診の虫歯のある子どもの率が23.9%でした。 ・育児相談時に歯科衛生士による歯科相談を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カリエスタット検査の結果を、事後、全員に通知することで、虫歯予防意識の啓発に繋がりました。 また、次の健診や育児相談の機会をとらえては、その結果を活用した歯科衛生指導を行い、虫歯予防意識の啓発に繋がりました。 	健康づくり推進課
54	子どもの事故予防	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に、年齢に応じた事故予防のためのチェックリストやパンフレットを配布しています。 ・子育て孫育てセミナーで、市消防職員による乳幼児の救急法の講習を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に、年齢に応じた事故予防のためのチェックリストやパンフレットを配布しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事故予防意識の啓発活動は、機会をとらえて、継続的に行うことが必要です。 	健康づくり推進課

(2)食育の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
55	地域での食育推進事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会を開催し、心身発達上の食事の重要性や、乳児期の栄養について指導助言を行っています。 ・栄養委員の協力のもと、小学生を対象とした料理教室（わんぱくクッキング）を開催しています。 ・栄養委員が中心となって、子ども会を対象に調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会を開催し、心身発達上の食事の重要性や、乳児期の栄養について指導助言を行いました。開催回数24回。参加者数年間281人。 ・お箸教室を幼稚園・保育園で開催し、食事のマナーについて学んでいただくことができました。 ・栄養委員の協力のもと、小学生・中学生を対象とした料理教室を開催しています（開催校：邑久小学校、牛窓中学校、長船中学校）。 ・栄養委員が中心となって、親子3世代を対象に調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会の場が栄養指導と母親の交流育児不安の軽減にもなり、大変好評でした。 ・お箸については園で問題があると分かっているが、取り組みにくい分野であったため、良い動機付けとなり好評でした。 ・小学校だけでは対応できない内容（郷土料理等）を行う事ができ、大変好評でした。 ・調理実習では地域のひととのふれあいがあり喜ばれています。 	健康づくり推進課

56	認可保育所、幼稚園、学校での食育推進事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 給食だより等を通じて、食に関する情報を提供しています。 給食で使用する食材に地場産物を使用しています。 	【給食の地場産物利用促進】 ・給食の関係職員と情報交換を行いました。	・地場産物への関心が非常に高いことが分かりました。量の確保の問題があり、理想どおりに行かない面もありますが、努力を惜みず取り組まれていました。	健康づくり推進課
			・各保育園で「食育に関する年間計画」を作成し、保護者には毎月、給食だより等による食育情報の提供しました。また、児童は野菜の栽培・収穫体験や収穫した野菜を使つてのクッキング等を行いました。	・保護者には地産地消への関心を持っていただくとともに、児童には様々な体験を通じて「食の大切さ」を身につけていただく取り組みができました。	子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> 給食だより等を通じて、食に関する情報提供を行いました。 給食の食材に地場産物を使用することで、食育を推進しました。 栄養教諭の指導により市内の学校園で実施しました。 あぐりキッズクラブには8名の児童・園児が参加しました。 	・栄養教諭による食に関する指導や情報提供を行うことで、幼児児童生徒の食への関心を高めることができ、給食の残量も減少しました。	総務学務課

(3) 思春期保健対策の充実

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
57	心の健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 思春期(不登校児童含む)や成人を対象とした、こころの健康相談を実施しています。 県教育委員会と連携し、すべての中学校にスクールカウンセラーを配置しています。 	【こころの健康相談】 ・こころの健康相談を12回実施しました。また、発達支援コーディネーターとの連携も図りました。相談件数延べ33件。	・発達支援コーディネーターとの連携により学校との情報交換がよりスムーズになりました。	健康づくり推進課
			・県教委の事業を活用し、市内3中学校・2小学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教員を対象にのべ500件を越える相談を行いました。	・学校不適應の傾向にある児童生徒の心のケア、保護者の悩みへの対応、教員の相談に対する専門的な見地からのサポート、専門機関へつなげる活動など大きな効果がありました。	総務学務課
58	未成年者の喫煙及び飲酒、薬物乱用の害についての理解促進	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校では学級活動や保健授業で指導を実施しています。 高等学校の文化祭で、愛育委員による喫煙防止啓発ポスターの展示やパンフレットを配布しています。 市広報や健康づくり通信に喫煙防止や飲酒の害についての記事を掲載しています。 	【喫煙・薬物乱用の害の啓発】 ・邑久高校の文化祭でタバコや薬物の害について啓発活動を行いました。	・高校生に対して、タバコの害などについて、正しい情報を提供でき、問題意識につながり、有意義でした。	健康づくり推進課
			<ul style="list-style-type: none"> 小中学校では学級活動や保健授業で指導しています。 中学校では、薬物乱用防止教室を必ず実施しています。 市内幼小中の敷地内は全面禁煙を継続して実施しています。 	・小中学校の継続した指導は、未成年の喫煙や薬物使用等の防止に必要な取り組みであると考えます。	総務学務課

59	思春期保健事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の文化祭で、愛育委員による赤ちゃんの抱き方、あやし方など、ふれあい体験学習を開催しています。 ・健康フェスタで、中学生の参加によるベビーマッサージ教室を開催し、赤ちゃんとのふれあい体験を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【赤ちゃんふれあい体験】 ・中学生が、中学校に出向いた地域の乳児とその保護者とふれあう機会（こんにちは赤ちゃんプロジェクト）に関わり、事前学習として子どもを産み育てることの意識啓発と技術指導を行いました。 ・ベジもっとフェスタで、中学生の参加によるベビーマッサージ教室を開催し、赤ちゃんとのふれあい体験を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛窓中学校で、昨年に引き続き、地域の赤ちゃんとその保護者の方と中学生のふれあい体験の場が企画され、命の大切さや産み育てることの意味を伝えることができました。この事業は、思春期保健にとどまらず、地域ぐるみの子育て意識の醸成につながるなど、有意義な事業となっています。 ・ベジもっとフェスタの赤ちゃんとのふれあい交流に参加した中学生は、楽しい雰囲気の中で、赤ちゃんとふれあう体験ができ、有意義でした。 	健康づくり推進課
----	------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------

(4)小児医療の充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
60	小児医療体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・市立市民病院に小児科が設置されています。（毎週金曜日） ・医師会との連携のもと、休日の当番医制度を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週2回（火・木）の診療を実施しました。 ・小児肺炎球菌等の予防接種を実施しました。 ・毎月実施の2歳児健診に小児科医師を派遣しました。 ・子育て支援課と連携し、子育て支援センターや保育サポーター養成講座に小児科医師を講師として派遣しました。 <p>実施回数 3回 対象人数 55人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院小児科医師を子育て支援を目的とする地域講座に派遣することは、当事者が抱える子育ての悩みを相談できる良い機会となったと好評でした。 ・毎週2回の小児科診療では、子育て世帯の要望に応えるには不十分であり、週5日の小児科診療実現のため医師確保に努めます。 	病院事業部
61	不妊治療に関する支援制度の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報及び愛育委員による回覧で、不妊治療支援制度の普及啓発を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページに制度について掲載し、情報提供を行っています。利用件数は増加傾向にあり、平成26年度は17件の申請がありました。 ・不妊治療を行い助成制度を利用した方のうち、妊娠・出産に至ったケースが3例ありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年々、申請者の件数は増加しており、助成制度利用者の子供を持ちたいという願いを実現するための支援につながっていると考えます。 	健康づくり推進課
62	乳幼児医療費、子育て支援医療費の助成 ※H22.10乳幼児医療費→小児医療費	<ul style="list-style-type: none"> ・県の乳幼児医療費給付事業に基づき、就学前まで入院・通院に係る自己負担分の助成を実施しています。 ・市独自の子育て支援医療費の助成として、小学1年～中学3年までの入院・通院に係る自己負担の一部を助成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支給金額は、145,151千円。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施しました。 	市民課
63	感染症対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがかかりやすい感染症や、新たに発生する感染症に関する情報及び予防方法について、市広報や市HP等で周知しています。 ・定期予防接種の受診方法等について、出生届時、家庭訪問、各種健診や子育て孫育てセミナー等の機会に周知しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【感染症予防の啓発】 ・子どもがかかりやすい感染症や、新たに発生する感染症に関する情報及び予防方法について、市広報紙や市ホームページ等で周知しています。 【定期予防接種の勧奨】 ・定期予防接種の受診方法等について、出生届時、家庭訪問、各種健診等の機会に周知しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種や子どもの感染症に関して関心は高く、定期予防接種は実施できています。今後も手洗いなど基本的な生活習慣も含めて継続して実施していく必要があります。 ・MRの予防接種についてはもう少し受診率を上げる必要があります。 	健康づくり推進課

基本目標3 子どもの健やかな成長を目指した教育環境の整備

(1) 次代の親の育成

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
64	次代の親へ男女が協力して家庭を築くこと、子どもを生み育てることの意識啓発	・中高生による認可保育所への訪問や、夏休み期間中に中高生ボランティアの受け入れを行っています。	・中学生が、中学校に出向いた地域の乳児とその保護者とふれあう機会(こんにちは赤ちゃんプロジェクト)に関わり、事前学習として子どもを生み育てることの意識啓発と技術指導を行いました。	・牛窓中学校で、昨年に引き続き、地域の赤ちゃんとその保護者の方と中学生のふれあい体験の場が企画され、命の大切さや産み育てることの意味を学ばれました。	健康づくり推進課
			・保育所において夏休み期間など、中学生・高校生ボランティアの受け入れを行いました。	・ボランティア参加者は児童との触れ合いを通じて、子育てへの理解と知識を深めるよい契機となりました。	子育て支援課
65	男女共同参画の意識啓発 【再掲】No. 43、79	・市広報に男女共同参画週間を紹介する記事を掲載しています。	市広報紙へ男女共同参画週間の紹介記事を掲載しました。	市として独自に推進するには、人体体制・予算が課題です。	まちづくり推進課 (H26年度から市民課が担当)

(2) 学校教育・幼児教育の充実

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
66	指導体制の充実	・少人数指導や生徒指導の充実に向けて、県からの教員の加配や市による非常勤講師の配置を行っています。 ・きめ細かな指導を行うために、幼稚園・小学校に支援員を配置しています。	・昨年度に引き続き、県からの教員の加配や市費による非常勤講師、支援員の配置により少人数指導や生徒指導の充実を図るとともに、きめ細やかな指導を実施しました。 ・体験型授業研修、学力向上研修、特別支援教育研修、若手教員研修、ICT活用研修等を実施しました。	・人的配置により、児童生徒への指導は学力面、生徒指導面ともに徐々に効果を上げています。 ・様々な分野の研修により、教職員の指導力や資質の向上に成果を上げています。 ・平成26年のICT機器導入に伴い、授業で効果的に活用するためのスキルアップ研修は効果的でした。	総務学務課
67	道德教育の推進	・すべての小・中学校で定期的に道德授業が展開されています。また、すべての教育活動を通じて道德性の育成・向上に努めています。	・小中学校では、各学年年間概ね35時間の道德授業を確保することができました。道德教育推進教師を中心に、教育活動全体を通じて、道德的判断力や実践力の向上を目指しました。	・年間指導計画を基に、教育活動全体を通じて計画的・継続的に道德教育を進め、落ち着いた教育環境づくりに寄与しました。	総務学務課
68	スクールカウンセラーの配置	・県教育委員会と連携し、すべての中学校にスクールカウンセラーを配置しています。	・市内3中学校と2小学校に配置し、児童生徒や保護者の心のケアに努めました。教員の相談についても専門的な見地からの意見をもらいました。	・問題行動や不登校の課題に対して、しっかりと機能し、生徒指導上の諸問題の改善に効果がありました。専門的な見地からの意見は教師の指導に役立ちました。	総務学務課
69	学校評議員制度の推進	・各学校で学校評議員を委嘱し、教育活動全般についての意見を踏まえ、活動内容に反映しています。	・各学校で学校評議員を委嘱し、学校運営に対する調査や意見を踏まえ、地域に関わった学校づくりを推進しました。	・学校評議員からの様々な意見や考えを学校運営に反映し、改善に生かすことができました。	総務学務課

70	基本的な生活習慣の確立や健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の文化祭で、栄養委員による食事アンケートの実施やパンフレットを配布し、規則正しい生活習慣の普及啓発を行っています。 ・幼稚園や小学校を対象に、栄養士と栄養委員による健康教育や調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【高等学校文化祭参加】 ・高等学校の文化祭で、栄養委員による食事アンケートの実施やパンフレットを配布し、規則正しい生活習慣の普及啓発を行っています。 【幼稚園・小学校との連携】 ・幼稚園や小学校を対象に、保健師・栄養士と栄養委員・栄養委員OB会による健康教育や調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育サットを利用しバランスが取れるかというコーナーは生徒の興味を引くことができました。 ・幼稚園や小学校、中学校で子どもたちや、若い保護者の方へ健康づくりの情報提供ができることは、病気の予防のため効果があると考えます。 	健康づくり推進課
71	小・中学校へのスクールサポーターの配置 【再掲】No. 34	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会と連携し、中学校2校にスクールサポーターを配置しています。 			総務学務課 【再掲】
72	学校における防犯・応急処置・安全管理体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての幼稚園・小・中学校で防犯や安全のための教職員研修や訓練が実施されています。 ・すべての幼稚園・小・中学校で定期的な安全点検が実施されています。 ・学校とPTA、地域等が連携して安全パトロール等の活動が行われています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての幼稚園・小・中学校で防犯や安全のための教職員研修や訓練を計画的・継続的に実施しました。 ・すべての幼稚園・小・中学校で定期的な安全点検を実施し、事故防止に努めています。 ・学校とPTA、地域等が連携・協力して安全パトロールや見守り活動を実施し、子どもたちの安全を守ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署職員など外部講師を招へいし、研修や訓練を実施することにより、教職員の危機管理意識や児童生徒の危機回避能力が向上しました。 ・定期的な点検により、施設や遊具等による事故を防止することができました。 ・登下校の見守りは、子どもたちの安全な暮らしを支えています。 	総務学務課
73	幼児教育の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての幼稚園で3歳児保育を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての幼稚園で3歳児保育を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児保育の実施により、発達段階に応じた保育を実施することができました。 	総務学務課

(3) 家庭や地域の教育力の向上

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
74	家庭教育手帳の配布と活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育手帳を2歳児健診時に配布し、家庭教育の重要性を啓発しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【家庭教育手帳の配布】 ・25年度から、国からの配布が無くなり中止。 手帳の作成は、市単独では出来ない為、配布を行っていません。 		健康づくり推進課
75	家庭教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園単位で、保護者等で組織する家庭教育学級を設置し、子育てに関する研修や子育てについて話し合える環境づくりを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級を7園で開設し、29講座開催されました。 延参加人数：2,363名 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の関係を深め、子育てについて話し合う機会を提供することができました。 	社会教育課
76	乳幼児健診会場でのブックスタート事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に絵本を通した親子の温かなふれあいについて説明し、ブックスタートパックを配付しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタートパックを乳幼児健診時に説明をしながら手渡し、本を通した親子のふれあいについて啓発しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子の絆を深める機会づくりにつながりました。 幼少期から本に親しむ環境が向上しました。 	社会教育課

77	男女が協力して家庭を築くこと、子どもを生き育てることの意識啓発	・子育てに関する正しい知識の普及啓発や、親同士の交流による育児の孤立化の予防等を目的に、子育て孫育てセミナーを実施しています。	廃止		健康づくり推進課
78	スポーツの振興	・体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの活動を支援しています。	スポーツ少年団などの青少年団体、体育協会の事業については、社会教育施設の使用料を100%減免しました。 活動への指導、助言のほか市体育協会、市スポーツ少年団、B&G海洋クラブに対し活動補助金を交付しました。	事業規模を縮小することなく実施できました。	社会教育課
79	男女共同参画の意識啓発 【再掲】No. 43、65	・市広報に男女共同参画週間を紹介する記事を掲載しています。	市広報紙へ男女共同参画週間の紹介記事を掲載しました。	市として独自に推進するには、人体体制・予算が課題です。	まちづくり推進課 (H26年度から市民課が担当)
80	子育て支援ネットワーク事業の推進 【再掲】No. 25、107	・児童虐待などの要保護児童の早期発見や早期対応をはじめ、すべての子どもと家庭への支援を目的とした関係機関・民間団体等によるネットワークを構築しています。 ・構成メンバーによるネットワーク連絡会を設置し、研修会や交流会を開催しています。	・「保健福祉フェスタ」を実施。既存の市子育て支援ネットワーク構成メンバーと連携しながら実施することができました。 ・12/16に子育て支援ネットワーク連絡会、3/12に子育て支援ネットワーク研修会を開催しました。(研修会：50名参加)	・「保健福祉フェスタ」では、民生委員、愛育委員、栄養委員等、子育て支援ネットワークメンバーと連携しながら、子育ての楽しさ、喜びを市民に伝えることができました。 ・子育て支援ネットワーク研修会において、ワークショップを実施し、構成メンバー間で、地域でできる子育て支援について考えることができました。	子育て支援課 【再掲】
81	子どもを対象とした地域の大人が主体となる体験講座の充実 【再掲】No. 27	・子どもや親子を対象に、地域の大人が講師となり、郷土料理や季節の行事などを体験する講座を開催しています。	・学校支援地域本部を立ち上げている小学校を中心に、地域の方をゲストティーチャーとして招き昔遊び等の指導を行いました。	・交流をもつことにより、地域の大人と子どもたちの人間関係づくりができました。	総務学務課 【再掲】
			地域の大人が協力して週末を中心に子どもの体験活動を提供する以下の4事業を実施しました。 わくわく☆チャレンジ 11回 477人 おはなし会 76回 464人 うさぎの学校 8回 267人 邑友タイム 8回 609人	子どもに様々な体験を提供することが出来ました。	社会教育課 【再掲】

基本目標 4 子育てを支援する生活環境の整備

(1) バリアフリーのまちづくり

① 安心して外出できる環境の整備

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
82	公共施設等の子ども及び親子連れに配慮した施設機能の充実	・一部の公共施設には、子ども用便器や手洗い器、ベビーベッド・チェアが設置されています。	・未実施。		子育て支援課

83	鉄道駅等の旅客施設、バス車両等のバリアフリー化	・JR長船駅のホームと電車との段差解消について、早期の実施を要望しています。	・JR西日本岡山支社との協議を3回行い、今後の方向性を検討する中で、下水道事業の延伸により、駅構内トイレの整備計画を確認しました。 ・市民から提案のあった駅前広場のタクシー停車位置について要望し、安全かつ円滑な駅前ロータリーの実現につながりました。	・錦海塩田跡地活用収入による駅前整備計画策定も視野に、引き続きJRとの協議や調査・検討を進める必要があります。	総務課（H26年度から企画振興課が担当）
84	歩行空間のバリアフリー化	・市道改良工事と合わせ、歩道の新設や改良を実施しています。	・工事に併せて段差解消等を図りました。	・市道改良時に段差解消や路面の排水処理を実施しました。	建設課
85	ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	・未実施。	・未実施。		福祉課
86	子育てにやさしいまちづくりへの理解の促進	・未実施。	・妊娠期から子どもの成長過程に沿った子育てに関する各種制度などを紹介した子育て応援冊子を妊娠届時に配布。 ・市内の商店・施設等におむつの交換台や授乳スペース等があるかどうかを表示した子育て応援マップを妊娠届時に配布。	・市の子育てに関する情報を分かりやすく伝えることができます。	子育て支援課

②良質な住宅・居住環境の確保

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
87	分譲住宅地の販売促進	・定住促進団地の販売とともに、チラシや住宅情報誌を活用したPRを実施しています。 ・空家情報バンク制度による定住促進事業を実施しています。	・定住促進団地の販売とともに、チラシや住宅情報誌を活用したPRを実施しています。 ・空家情報バンク制度による定住促進事業を実施しています。 ・FMラジオ番組でのPRを4回行いました。	・住宅情報誌の掲載は効果があり、問い合わせ等増加しています。また、東京、大阪でのPR活動も非常に有効でした。 ・空家情報バンクへの問い合わせが増加しており、登録物件の追加が急務となっています。	まちづくり推進課（H26年度から企画振興課）
88	老朽化した公営住宅の計画的な建替及び改修事業の実施	・公営住宅の中には築後30年を超えるものもあり、老朽化が課題となっています。	福里西村団地の建替が終了しました。	10戸完了しましたが、その後の建替えの目途が	建設課
89	住宅増改築相談の充実	・相談員による住宅の増改築や耐震対策に関する相談を月1回実施しています。	・相談員による住宅の増改築や耐震対策に関する相談を月1回、計12回実施しました。	・広報せとうちに掲載していますが、相談者が少ないのが現状です。	建設課

(2)安全・安心なまちづくり

①交通安全の推進

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
90	交通安全に関する意識の啓発	・市広報や市HPを活用して、子どもの交通安全に関する啓発を行っています。	・市役所からの指導 幼稚園・保育園 60回 保護者 2回 ・瀬戸内警察署からの指導 幼稚園・保育園 9回 一般(高齢者含) 21回	・瀬戸内警察署との情報共有を図りながら、乳幼児児童などでの交通ルールの指導や街頭啓発活動に取り組むことができました。	危機管理課
91	チャイルドシートバンクの充実	・瀬戸内交通安全協会と連携し、チャイルドシート、ベビーシート、ジュニアシートの貸し出しを実施しています。	・瀬戸内市交通安全協会(瀬戸内警察署内)にてチャイルドシートの貸付を実施 貸付件数 42件	・瀬戸内市交通安全協会において、チャイルドシートの借用要望者に対し、貸し出し対応ができました。	危機管理課
92	交通安全対策協議会の運営と連携強化	・交通安全対策協議会を春・秋の2回開催し、関係団体が一体となって交通安全活動を実施しています。	・春の交通安全運動 4月6日～15日 ・秋の交通安全運動 9月21日～30日 ・市交通安全対策協議会の開催(年2回)	・交通安全母の会、交通警察協会員等の各種関係団体の集結、協力により、交通安全啓発活動が実施できました。	危機管理課
93	交通安全施設等の整備	・瀬戸内交通安全協会等と連携して、通学通園路を中心に交通安全看板などの設置を実施しています。	・瀬戸内市交通安全協会や交通安全母の会(14地区)を中心に、通学路などに交通安全看板などの設置や危険個所の点検、危険個所の改善要望等を実施しました。	・通学路の危険個所等の点検を、瀬戸内警察署、教委総務学務課、危機管理課、建設課、幼・小学校、PTA役員関係者等により実施できました。	危機管理課
			・カーブミラー17基、ガードレール約131m、外側線ライン引き2,335m等交通安全施設設置を実施しました。	・緊急度の高い箇所から安全対策を図りました。	建設課

②子どもを犯罪等の被害から守る活動の推進

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
94	自主防犯行動の促進に向けた情報提供	・市広報や市HPを活用して、防犯情報を提供しています。 ・子どもの安全にかかわる事件や不審者等の情報を、携帯電話やパソコンに電子メールで配信しています。	・広報紙への防犯情報を必要に応じ随時掲載し周知を行いました。 ・瀬戸内市安全・安心ネットワーク推進協議会メンバーへの、岡山県警から配信される防犯情報等のメール配信を行いました。	・市広報紙による市内全戸への自主防犯行動等の啓発や情報提供、情報共有により自主防犯活動の意識啓発ができました。	危機管理課
			・瀬戸内署と連携し、各校への情報提供が必要な事案に対しては、メールやFAXを利用して、迅速かつ正確な情報を提供しました。	・瀬戸内署の依頼を受け、不審者に関する情報等をすべての幼稚園・小・中学校に提供し、注意喚起を図ることができました。	総務学務課
95	防犯灯の設置	・自治会からの要請による防犯灯の設置とともに、防犯灯を設置する自治会に対して補助金を交付しています。	・防犯灯球切れ等修繕対応、市管理LED防犯灯の新設工事、自治会等管理LED防犯灯設置費の補助金の交付を行いました。	・LED化の推進及び補助金に関する広報活動を行い、市内全域の自治会等が管理する防犯灯のLED化に取り組みが推進できました。これに伴い、20W蛍光灯等の防犯灯の球切れ修繕等が前年に比して減少するとともに、CO2削減等の環境にも優しい配慮が図れました。	危機管理課

96	防犯ボランティアの育成及び活動支援	・各地域に結成された自主パトロール隊との合同パトロールを実施しています。	・瀬戸内警察署による管内防犯ボランティア団体会議が8月に開催され、管内の犯罪情勢、交通事故発生状況、交番・駐在所地域の生活安全センターとしての犯罪抑止の連携協力について、各防犯ボランティア団体との情報交換、情報共有を図りました。	・瀬戸内警察署を中心とした、市及び自主防犯パトロール隊との情報共有が図れ、市職員で構成する瀬戸内市防犯パトロールの強化が図れました。	危機管理課
97	市民を対象とした防犯学習機会の実施	・民生委員定例会で防犯講話を行い、登下校時の見守り活動など、子どもの安全確保についての啓発を行っています。	・瀬戸内警察署との連携により、高齢者やその周辺者に対する特殊詐欺防止対策の広報啓発や講和を実施し、犯罪未然防止・抑止のため、高齢者に対する声かけ等を金融機関に働き掛けの強化協力を要請しました。	・瀬戸内警察署生活安全課を中心に、市民が犯罪のない安全・安心まちづくり推進の関心と理解を深めるとともに、犯罪抑止の気運・取組・活動について一層高めることができました。	危機管理課
98	小学生や保護者を対象とした児童虐待・いじめ等の暴力防止教育の実施 【再掲】No. 109	・小学校4年生とその保護者及び教職員を対象に、子どもへの暴力防止/人権教育プログラム(GAP)を実施しています。	・未実施。	・平成24年度まで、子どもへの暴力防止/人権教育プログラム(GAP)を実施していましたが、学校での時間の確保が難しい状況があります。	子育て支援課
99	防犯連合会等との連携による子ども110番制度の推進	・各小学校でPTA等を通じて、子ども110番の引き受け場所を確保し、掲示札の掲示及び緊急避難場所としています。	・各学校でPTA等を通じ、「子ども110番」の引き受け場所を確保しています。	・「子ども110番」の看板設置により犯罪防止の効果が継続しています。	総務学務課
100	情報モラル教育の推進	・すべての小・中学校で、インターネットや携帯電話によるいじめや有害情報に対する教職員研修を実施し、児童生徒への指導を行っています。また、家庭への啓発を行っています。 ・関係機関と協力して、学校裏サイト等のチェック体制を整備しています。	・各校で講師を招聘し、携帯電話の使い方について指導を行いました。 ・情報モラル教育についての指導力向上のため、研修講座等に参加しました。 ・毎月ネットパトロールの検索結果を関係の学校に情報提供しています。	・学校全体で携帯電話の使用について考え、牛窓中学校ではSNS断食に取り組みました。 ・情報モラル教育についての正しい理解と指導力向上に努めました。 ・携帯電話等によるトラブルの発見と未然防止の有効な情報提供となっています。	総務学務課
101	関係機関における防犯に関する意見交換の充実	・教育委員会、警察署、防犯連合会等との意見交換を随時実施しています。	・市、警察署、防犯連合会、国際化問題協議会等の連携により、情報の共有が図れました。	・各自主防犯組織、団体等関係機関の活動状況や防犯に関する情報の共有が図れました。	危機管理課

③被害にあった子どもの保護の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
102	子ども人権相談の充実 【再掲】No. 30	・夏休み・冬休み・春休み期間に、子ども向け人権相談を開催しています。子ども本人からの相談に加え、保護者からの相談も受け付けています。	従前のおり法務省委嘱の人権擁護委員による実施でした。	充実を行うには人員配置や予算が課題です。	市民課 【再掲】
103	要保護児童対策地域協議会による支援の推進 【再掲】No. 31、108	・児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議を年1回、実務者会議を月1回、個別ケース検討会議を適宜開催しています。	・代表者会議を5/28に開催。 ・実務者会議を毎月開催。前年度より回数を増やし、計14回開催しました。	・会議を設けることで、要保護児童に関する情報や課題を共有し、支援体制を整えることができました。 ・困難ケース等、タイムリーに個別会議を持つことで、関係者がケース情報や課題を共有し、役割を確認することで、支援体制の充実を図ることができました。	子育て支援課 【再掲】

基本目標5 支援が必要な子どもと家庭への取り組みの推進

(1) 児童虐待防止対策の推進

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
104	子どもの人権や児童虐待防止に関する啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年11月号の市広報に虐待防止に関する記事を掲載しています。 ・平成17年度に児童虐待防止等ネットワークによる啓発チラシを全戸配布しています。 ・毎年、児童虐待防止推進月間にあわせて、関係機関(者)へ啓発ポスター・チラシを配付しています。 	市独自施策としての実施はありません。	市として独自に推進するには、人員体制・予算が課題です。	市民課
			<ul style="list-style-type: none"> ・11月の児童虐待防止月間に併せて、ポスターや啓発チラシの配布、及び市広報紙への掲載等により市民への啓発を行いました。啓発用マグネット看板を、公用車に取り付けPR活動を行いました。 ・オレンジリボンのロゴ入りポロシャツを、11月の児童虐待防止月間を中心に、イベント等に着用し、児童虐待防止のPR活動を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止には、住民への意識啓発は不可欠です。今後も市民への継続的な啓発活動は必要です。 	子育て支援課
105	子育てに関する正しい知識の普及と虐待の早期発見の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師等による新生児・乳児訪問を行い、育児上の不安や悩みの軽減を図っています。 ・愛育委員が生後4か月までに赤ちゃん訪問を行い、手作りおもちゃの贈呈や乳幼児健診への受診勧奨等を行っています。 	【虐待防止啓発】 ・No.104に同じ。	・No.104に同じ。 ・参加者同士交流がはかれ、育児の学びと仲間づくりの機会になっています。	子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> ・邑久子育て支援センター・福田子育て支援センターを会場にして、年4回、各回4回シリーズで開催しました。29組の親子が参加しました。 【保健師等による乳幼児訪問】 ・支援の必要な家庭を継続的に訪問し、相談にのりました。 【愛育委員訪問活動】 ・愛育委員による声掛け訪問を行いました。	・若年妊産婦や、地域で支援が得られにくい世帯が多くなっていることから、保健師等による訪問や地域の愛育委員の見守りは重要になっています。	健康づくり推進課
106	養育支援が必要な家庭への訪問指導	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業をはじめ、関係機関で把握された支援の必要な家庭に対して、訪問指導を実施しています。 	【養育支援訪問事業】 ・養育支援が必要な家庭に対し、10家庭に対して述べ49件訪問しました。	・ひとり親家庭や、育児不安の強い母親など、養育面が心配な家庭に定期的に訪問し、助言・指導を行いました。これにより母子ともに安定した養育環境を提供することができました。	子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> 【保健師等による乳幼児訪問】 ・保健師、助産師により乳幼児全戸訪問を行いました。養育支援事業が必要な家庭について子育て支援課との連携を持って対応しました。 	・訪問事業は多くの場合、受入が良いが、訪問拒否のご家庭がありました。訪問事業の理解を得るとともに、訪問拒否家庭の状況把握が必要となっております。	健康づくり推進課
107	子育て支援ネットワーク事業の推進 【再掲】No.25、80	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待などの要保護児童の早期発見や早期対応をはじめ、すべての子どもと家庭への支援を目的とした関係機関・民間団体等によるネットワークを構築しています。 ・構成メンバーによるネットワーク連絡会を設置し、研修会や交流会を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健福祉フェスタ」を実施。既存の市子育て支援ネットワーク構成メンバーと連携しながら実施することができました。 ・12/16に子育て支援ネットワーク連絡会、3/12に子育て支援ネットワーク研修会を開催しました。(研修会：50名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健福祉フェスタ」では、民生委員、愛育委員、栄養委員等、子育て支援ネットワークメンバーと連携しながら、子育ての楽しさ、喜びを市民に伝えることができました。 ・子育て支援ネットワーク研修会において、ワークショップを実施し、構成メンバー間で、地域でできる子育て支援について考えることができました。 	子育て支援課 【再掲】

108	要保護児童対策地域協議会による支援の推進 【再掲】No. 31、103	・児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議を年1回、実務者会議を月1回、個別ケース検討会議を適宜開催しています。	・代表者会議を5/28に開催。 ・実務者会議を毎月開催。前年度より回数を増やし、計14回開催しました。	・会議を設けることで、要保護児童に関する情報や課題を共有し、支援体制を整えることができました。 ・困難ケース等、タイムリーに個別会議を持つことで、関係者がケース情報や課題を共有し、役割を確認することで、支援体制の充実を図ることができました。	子育て支援課 【再掲】
109	小学生や保護者を対象とした児童虐待・いじめ等の暴力防止教育の実施 【再掲】No. 98	・小学校4年生とその保護者及び教職員を対象に、子どもへの暴力防止/人権教育プログラム(CAP)を実施しています。	・未実施。	・平成24年度まで、子どもへの暴力防止/人権教育プログラム(CAP)を実施していましたが、学校での時間の確保が難しい状況があります。	子育て支援課 【再掲】

(2)ひとり親家庭への支援

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
110	母子・父子自立支援員による相談体制の充実	・母子及び寡婦福祉法に基づく母子自立支援員を市福祉事務所に設置し、ひとり親家庭の子育てや就労等に関する相談や情報提供を行っています。	・母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく母子・父子自立支援員を市福祉事務所に設置し、ひとり親家庭の子育てや就労等に関する相談や情報提供を行っています。	・児童相談所、女性相談所、ハローワーク等の専門機関と連携して、相談や情報提供を行いました。	子育て支援課
111	ひとり親家庭等生活支援事業の実施	・ひとり親家庭等への生活援助や子育て支援を行うことを目的に、家庭生活支援員の派遣を行っています。	・ひとり親家庭等への生活援助や子育て支援を行うことを目的に、家庭生活支援員の派遣を行っています。 利用件数 1件	・今年、利用が1件あったが、急な要請につき、日時の希望に添えることができませんでした。	子育て支援課
112	ドメスティックバイオレンス(DV)防止に関する啓発と被害者への支援	・市広報等でDV防止に関する啓発を実施しています。	相談業務は継続しました。	女性相談員など人員・体制の整備と、各部署・外部団体等との連携体制の整備が課題です。	市民課
		・被害者等から相談があった場合には、女性相談所や警察署等への紹介や連絡を行っています。	【相談支援】 ・保護者のDVにより子どもの心理面に与える影響が心配されるケースがありました。関係機関と連携し、支援しました。	・関係機関とタイムリーに情報を共有し、支援体制を整えることができました。	子育て支援課
		・家庭訪問、乳幼児健診、育児相談等を早期発見の機会と捉え対応するとともに、状況に応じてこころの健康相談を紹介しています。	・乳幼児健診や妊婦相談時には、DV被害の観点からも相談に応じるようにしています。 DV相談ケースは、0件。	・DV被害者本人には、被害者という自覚が無い場合もあることから、相談を受けた場合には、DVの可能性を視野に入れながら、注意深い対応を心がけています。	健康づくり推進課

113	経済的支援による自立支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等医療費の助成制度を実施しています。 ・市民税非課税世帯のひとり親家庭を対象に、保育所保育料の減免を実施しています。 ・児童扶養手当法に基づく児童扶養手当を支給しています。 ・母子及び寡婦福祉法に基づく瀬戸内市母子家庭自立支援教育訓練給付金・高等技能訓練促進費の活用を促進しています。 ・県の母子寡婦福祉資金貸付制度の窓口業務を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支給金額は、8,655千円。 【児童扶養手当】 ・児童扶養手当法に基づく児童扶養手当を支給しています。 受給者数 263人 【自立支援教育訓練給付金等】 ・母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく瀬戸内市自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金の活用を促進しています。 自立支援教育訓練給付金 0件 高等職業訓練促進給付金 3件 【母子父子寡婦福祉資金貸付制度】 ・県の母子父子寡婦福祉資金貸付制度の窓口業務を行っています。 修学資金 1件 就学支度資金 2件 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施しました。 【児童扶養手当】 ・市民課、支所と協力しながら、制度の利用を促しました。 【自立支援教育訓練給付金等】 ・資格を取得することによる、賃金アップ、正規雇用などの話をして、制度に対する関心を高めてもらいました。 【母子父子寡婦福祉資金貸付制度】 ・県との連携を強化して、支払い期限前に入金ができるよう協力しました。 	市民課 子育て支援課
114	交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度開催地となった岡山県母子寡婦福祉研修会（県大会）を機会に、「お母さんの集い」を開催しています。（その結果、瀬戸内市母子寡婦福祉連合会の母子部会ができています。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭ふれあい交流旅行参加世帯 8組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の交流による育児や生活への不安の解消を目的として、日帰り旅行を実施しました。 	子育て支援課
115	女性を対象とした相談体制のあり方に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度に、人権啓発室・福祉課・子育て支援課・健康づくり推進課で、連携体制について検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施なし。 	<ul style="list-style-type: none"> 市として独自に推進するには、人員体制・予算が課題です。 	市民課

(3) 障害児施策の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成26年度実施状況	評価	担当課
116	障害の早期発見・早期対応	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診で多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー児の検討を実施しています。 ・要精密検査必要児の保護者に対して、十分な状況の理解や納得を得た上で、専門機関への受診勧奨を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【乳幼児健診における発達相談支援】 ・乳幼児健診で多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー児の検討を実施しています。 【要精密検査児への支援】 ・要精密検査必要児の保護者に対して、十分な状況の理解や納得を得た上で、専門機関への受診勧奨を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児健診では、心理専門職員の配置により、発達について相談できる体制は整備できています。 ・発達が気がかりな児が増加傾向にあることから、心理専門職員の常勤的な配置が望ましいです。 	健康づくり推進課
117	発育や発達に関する相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医による幼児の発育や発達についての相談を年3回実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【発達相談の実施】 ・専門医による幼児の発育や発達についての相談は、年4回実施しました。相談実施件数は21件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医による診察の機会として有効に活用できました。 	健康づくり推進課
118	障害児保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての認可保育所で受け入れ体制は整備されていますが、利用ニーズ等により平成21年度は5か所の保育所で実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度実施保育所数 私立保育園3か所 公立保育園5か所 	<ul style="list-style-type: none"> ・各保育園で利用ニーズに応じた障害児保育が行うことができました。ただし、障害児など加配の必要な児童が増えており、受け入れのためには保育士の確保が課題です。 	子育て支援課

119	教育相談・指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1校の情緒障害に係る通級指導教室で、対人関係能力等に関する指導を行っています。 ・養護学校と連携を図りながら、各学校で教育相談を実施しています。 ・市医師会、児童相談所、養護学校、市担当課、保・幼・小・中の代表者が参加する就学指導委員会を年2回開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自閉症・情緒障害の児童を対象とした通級指導教室を継続しています。就学前の幼児を対象とした教育相談も実施できました。 ・関係機関と連携し、ケース会議を開催し、個々の状況に応じた支援を行いました。 ・教育支援委員会だけでなく、年間を通して随時対象児童生徒の就学について、審議・判定を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前からの教育相談を積極的に行い、適切な就学指導を実施することができました。 ・ケース会議により、共通理解、共通実践に努めながら支援を継続することができました。 ・就学に係る保護者の悩みや相談に直接対応することができました。 	総務学務課
120	学校生活の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内市及び備前地区の特別支援ネットワークを活用し、関係者によるケース会議等を開催しています。 ・特別支援学級の設置について、県教育委員会に要望しています。 ・通常学級に在籍する発達障害の児童生徒を支援するため、県からの加配教員や市で支援員を配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育連絡協議会を1回開催し、関係機関の連携を確認しました。 ・特別支援学級の新設・継続などを県教育委員会に働きかけました。 ・通常学級における支援を要する児童生徒に対して、適切な支援員の配置を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育連絡協議会の継続により、関係機関や担当者との共通理解や情報交換ができました。学校だけでは対応の難しいケースについては、東備支援学校と連携して専門指導員の指導を受けることができました。 ・人的配置により、支援を要する児童生徒へのきめ細やかな指導につながりました。 	総務学務課
121	障害に関する正しい知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報や市HPで、障害手帳や各福祉制度の周知を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報や市ホームページで、障害手帳や各福祉制度の周知を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に多様な情報を提供でき、障害に関する正しい知識の普及が図れました。 	福祉課
122	自立支援及び地域生活支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援法に基づく瀬戸内市第2期障害福祉計画を策定し、障害のある人の自立や地域生活の支援を進めています。 ・障害のある子どもを受け入れている放課後児童クラブを対象とした障害児受入サポート事業（委託料の加算）を実施するとともに、指導員の資質向上のため研修会を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会で「自立支援の広場」ホームページを開設し、情報提供を行いました。 ・自立支援協議会で、「障害福祉サービス利用の手引き」を作成し、情報提供を行いました。(1000部) ・障害のある子どもを受け入れている放課後児童クラブを対象とした障害児受入サポート事業（委託料の加算）を実施。 ・平成26年度は放課後児童指導員資格認定に関する研修会を3回開催。発達障害に関する研修を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害がある人の日常生活の向上や相談業務、社会参加の促進につながっています。 ・障害児に関する研修会などへの積極的な参加があり、放課後児童クラブ指導員の資質向上が図れています。 	福祉課 子育て支援課
123	特別児童扶養手当、特別障害者手当の支給	<ul style="list-style-type: none"> ・特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく特別児童扶養手当、特別障害者手当を支給しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別児童扶養手当39人、特別障害者手当28人、障害児福祉手当16人、経過的福祉手当2人手当を交付し、福祉の増進が図れました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、本制度の周知を図るとともに、今後も国の制度に基づき実施します。 	福祉課

(4)すべての子どもと家庭への総合的な支援

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成26年度実施状況	評価	担当課
124	子どもと家庭の総合的な相談・支援の体制づくり	平成17年4月から児童相談援助業務が市町村で開始されています。	平成26年度は新規の児童相談が71件ありました。そのうち15件が児童虐待相談でした。また、その他の養護相談ケースについても、所属への見守り等の支援を依頼しています。	<p>児童虐待相談の登録件数は年々増加しており、関係機関や地域住民への意識の高まりも要因として考えられます。しかし、その一方で保護者の離婚や再婚、精神的な問題、経済的な問題等、複数の課題を抱える家庭が増加しています。</p> <p>児童虐待を家族だけの問題ではなく、地域全体の問題として捉えていく必要があります。</p>	子育て支援課
125	子どもと若者の総合的な支援の体制づくり	児童虐待、いじめ、少年による重大事件の発生、有害情報の氾濫、ニートやひきこもり、不登校、発達障害、精神疾患など、子ども・若者をめぐる環境の悪化や問題の深刻化が指摘されています。国は平成21年7月に「子ども・若者育成支援推進法」を制定し、総合的な支援体制の構築を進めています。	<p>国、県などから関係する情報を収集しました。</p> <p>情報収集に努めました。</p>	<p>地域内に関係する専門機関が無いなど体制づくりが課題です。</p> <p>市の総合的な体制作りのため、さらに情報収集に努める必要があります。</p>	<p>社会教育課</p> <p>子育て支援課</p>